No.198

こによるものである。

臨時財政対策債は前年度と同

続き前年度比増加となったが

## 決算を認定 平成26 年度 ました

5日の本会議において、 8日に設置した10人で構成す・特別会計決算認定は、9月 査を行いました。そして10月 長の報告のとおり意見を付し る決算特別委員会に付託し審 く認定しました。

## 決算特別委員会の構成

∞松岡みゆき○石井くにの 佐々木智子 木目田英男 田中のりこ ◎委員長 吉田つとむ おく 松葉ひろみ ○副委員長 栄一

議会の意見 (要約)

も92億5010万6千円増 となっている。また、対前年 年度へ繰り越すべき財源を差 も92億5010万6千円増加819万1千円増加し、歳出 度比においても歳入は85億4 5億4092万4千円の黒字 し引いた実質収支においても 総額2317億8822万円 751万8千円に対し、歳出 である。差引では57億492 万8千円の黒字となり、翌 平成26年度 市一般会計・特別会計決 歳入総額2375億3 (2014年度)

歳入決算額の内訳

歳入合計

約1,442億円

144,242,577,819円

その他 20,479,945,117円 (14.2%)

国庫支出金

付金などです。

歳出決算額の内訳(一般会計)

139,844,431,093円

その他 1,955,952,368円 (1.4%)

歳出合計

約1,398億円

24,626,281,432円 (17.1%)

国が使途を特定し、市に国から

交付される負担金、補助金、交

議会費

農林費

労働費

(50.0%)

18,442,726,485円 (13.2%)

庁舎や財産の維持管理、

どの経費です。

徴収、戸籍管理、選挙、統計な

69,951,798,610円

障がい者や高齢者、子

どもの生活支援、生活

保護などの経費です。

税金の

としては、収入総額の約半分万7千円増加した。その要因 業債や地域センター建替事業 度に引き続き前年度比増加と **債といった市債が増加したこ** なったこと、学校施設整備事 を占める市税収入が平成25年 で前年度に比べ74億6389 1442億4257万8千円一般会計を見ると、歳入は、 準には該当していない。しか 率及び資金不足比率についてれている4つの健全化判断比 財政再生基準、経営健全化基 全化に関する法律」 市税収入は平成25年度に引き 造が前年度にも増して硬直化 になったことは、市の財政構 し、経常収支比率が92・9% したということである。 市の重要な自主財源である に関する法律」で規定さ「地方公共団体の財政の健

平成26年度

地方消費税交付金

5,322,919,000円 (3.7%)

交付されるお金です。

7,653,400,000円(5.3%)

市が、国や民間金融 機関などから借り入

17,995,412,993円 (12.5%)

都が使途を特定し、市に都から

交付される負担金、補助金、交

平成26年度

消防費 5,301,627,529円 (3.8%)

公債費 6,072,388,316円 (4.3%)

土木費 10,573,137,617円 (7.6%)

道路や公園の整備及び 管理、区画整理などの

12,217,846,668円 (8.7%)

健康増進、疾病予防、

どの経費です。

環境保全、ごみ処理な

15,328,953,500円 (11.0%)

のための経費です。

18 日 17 日 16 日 15 日

決算特別委員会

決算特別委員会

決算特別委員会

決算特別委員会 決算特別委員会

決算特別委員会

学校教育、生涯学習、文化スポーツ

10 目

常任委員会

、総務・健康福祉)

(文教社会・建設

9 =

決算特別委員会

文教社会)

(総務・健康福祉・

常任委員会

経費です。

衛生費

10月5日

本会議

議会運営委員会

歳出合計額

れる資金です。

付金などです。

都支出金

地方消費税として課税され

る都民税の一部が、都民税

の割合に応じて都から市に

平成26年度町田市一般会計 ものである。 福祉費が増加したことによる 特例給付金給付事業等の社会 金給付事業や子育て世帯臨時 の50%で、特に臨時福祉給付 前年度に比べ増加し歳出全体 その要因としては、 て74億7140万円増加した。

億4837万8千円で、前年計への繰出金を見ると168 るものである。 度と比べて増加したことによ 千円増加した。その要因とし ほかすべての事業会計で前年 ては、国民健康保険事業会計 度と比べて11億7347万5 次に、一般会計から特別会

8737万8千円であった。 900万円で、特別会計への ト低下して1・9%であった。 公債費比率は、0・2ポイン 政力指数は、前年度と同一値財政分析指標を見ると、財 繰出金と合わせると179億 計への負担金を見ると11億3 ント上昇して92・9%であっ 経常収支比率は、0・6ポイ 収支比率は、0・1ポイント 昇して5・6%であった。 0・969であった。 また、一般会計から企業会 実質

(一般会計)

市民税、固定資産税、

税などがあります。

商工費 894,380,209円

693,653,692円

330,405,594円

37,512,873円

いずれも早期健全化基準、

歳入合計額

3万1千円で、前年度と比べ 歳出は、1398億444 民生費が 政は引き続き大変厳しい状況度に比べ低下しており、市財歳入全体における割合は前年 進め、 である。行政サービスを向上 今まで以上に事務の見直しを 予算執行に当たっては、 さらに拡充していく一方 効率的、効果的な行政

運営に努められたい

【経営状況】

68,164,619,277円 (47.3%)

軽自動車税、市たばこ

いただけます。 http://www.gikaimachida.jp/g07\_ OshiraseView.

asp?SrchID=323 〈スマートフォン用QRコード〉

「決算特別委員会議案審

査報告書」の詳細は、市

議会ホームページでご覧

26年度町田市病院事業会計決8月27日に上程された平成 算認定は、健康福祉常任委員 定例会最終日に認定されまし 会の審査を経て、 事業会計決算を平成26年度病院 認定 10月5日の

事業報告書から

682人 (0・5%) 増加し、 4人)となり、 739人(1日平均366・ 入院患者数は年間延13万3 前年度に比べ 外来を合わせた料金収入は前

〈アドレス〉

度比0・7ポイント上昇しま 比べ1万634人 (3・2%) 04・7人)となり前年度に 万8345人(1日平均13 病床利用率は82・7%と前年 た。外来患者数は年間延31 収益的収入は、前年度と比 少しました。

906万円となりました。入 り9914万円 (2・9%) 加による診療単価の増加によ 益は、投薬料や注射料等の増 等の増加により6769万円 ・3%) 増加し、133億7 較すると3億349万円 院収益は、 (0・9%)の増加、外来収 患者数や手術件数 2

の増加となりました。入院・

価償却費が2億2559万円 減少しました。また、電子力 より5957万円(3・2%) ルテシステム等病院情報シス 、ムの一斉更新等により、

(17・3%) 減少した一方で

・5%) 増加し110億4 較すると20億5425万円(15 51万円となりました。 年度より1億6684万円 収益的支出は、前年度と比

固

の増加となりまし 会計制度改正によ

||耗費は5050万円の 定資産売却損は1億

の増加により1億3446万 料費は、薬品費や診療材料費 万円 (2・7%) の増加、 費は前年度より1億7757 ・4%) 増加し154億11 53万円となりました。 (4・8%)の増加、経費 委託料や修繕費の減少に 材 以上の結果、2014年度円計上しました。 ました。 た。更に、 金は51億6099万円となり 純損失を計上しました。これ 給付引当金などの引当不足額り計上が義務付けられた退職 により当年度末の未処理欠損 は20億3246万円の当年度

でした。 円で6894万円

資本的支出は、

非常用自家

9月定例会の日程

的収支調整額と過年度分損益 分消費税及び地方消費税資本 84万円については、当年度 勘定留保資金で補填しました。

3万円で21億878万円でし た。 円、企業債償還金6億348 の資産購入費14億3647万 院情報システムや医療機器等 49万円、電子カルテ等の病 委託料などの病院改築費37

発電設備等の更新に伴う設計

## 8月27日 本会議 議会運営委員会

2 ⊟ 3 ⊟ 本会議 本会議 本会議 本会議 本会議 町田市交通政策特別 議会運営委員会 本会議 議案説明会 革調査特別委員会 第15期町田市議会改

この広報紙は、131,976部作成し、

1部あたりの単価は9円です(職員人件費を含みます)

額に対し不足する額20億39

資本的収入額が資本的支出